



## 1 日目

---

なんとなく殴るのに飽きたから  
なんとなく乗馬鞭で打ってみた  
あまりの荒れように  
動揺していたようだったけど  
その動揺も  
赦せない。

誰かがこの世で一番愚かな動物は  
ヒトだと言ったね  
でも俺にとって  
やっぱりお前は豚だと思うよ。

## 2日目

---

誰でもいいってわけじゃないよ  
君の肉が柔らかいってだけで。  
鞭を振るっても、蠟燭垂らしても  
殴って切って  
血が出てもね  
ただそれが柔らかいってだけで。  
血が欲しくなったら、また徘徊するだけ。  
喰いたくなったら餌を垂らす  
腐るほど。  
そうして肉が美味くなるとすら思わない  
ただの肉塊。  
其れだけ。

### 3日目

---

鞭なんて痛くないだろう

縄なんて、拘束力など

其の実ないだろう？

商品でもない俺もお前も

必要性なんて無い。

泣いても許してやらない。

所詮、ペットごっこなんだ。

主従なんてして居ないだろう？

だからなんだって、してやるよ。

おもちゃで遊ぼう？

ニードルでたくさん刻んでやろうか

刻んでやる価値もない。

遊んでもやらない。

嘔吐物でも犬食いしてろ

これはただのお遊戯会。

## 4日目

---

機嫌取りのつもりか？

俺の脚はお前の人毘だとでも言いたいのか

そうだなあ

其処等のマザーファッカーとでも遣ってきたら

撫でてやろうか。

## 5日目

---

悲鳴なんてつまんないんだよ  
泣き顔なんて見飽きてんだよ  
そうして恍惚してるのも見飽きてるんだ  
ニードルだけじゃ足りないだろ？  
本当に狂う笑顔は何だろうな？  
縫合してやろうか  
舌を瓶詰だとか  
王道過ぎて、そんな処理で済ますと思うなよ  
何もかもが醜い。  
そうそう  
その懊悩の顔だよ。

## 6日目

---

出来ない方がいい垂れ流す表情  
駆くことのない痛覚  
それを捻じ込む事だって簡単だ。  
ただそれがお前にとって幸せなら  
つまらない気がするけど  
俺がさせたい時もある。  
ただその瞬間は虚しい。  
模範でしかなく自嘲だ。  
何も届いていないような  
そんな感覚になる。

## 7日目

---

汚物みたいに垂れ流す痛覚  
それで満足なのか？  
痛みに酔って快楽として恍惚として  
汚物で塗られた身体で

貴方が好きです。

だっていう。  
ストップワード。



## 喪失

<http://p.booklog.jp/book/118166>

著者：黒耀

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/kokuyou-akr/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/118166>

電子書籍プラットフォーム：パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社トゥ・ディファクト